

グループワーク 意見記録用紙

グループ①

委員名	施策の柱 の番号	施策の柱	意見（背景や理由も含めて）	回答
A 委員	2-2	適切な医療提供体制を維持する (医療)	これまで、「恩恵」という言葉はあまり使わなかったイメージ。「サービスを提供する」といった言い方をしていた気がする。	地域医療基本条例での表現を参考にしているということで、御理解いただきたい。
2 B 委員			資料2 前回審議会意見への対応における18番「被爆」の漢字表記は正しいのか。	「被爆」の表記が正しい。放射能被害の際に「被曝」と表記する。
3 C 委員	全体		施策の柱の方向性が大枠、施策とその方向性はより具体化したものという理解であるが、それが逆転しているような記載が見られる。また、表現が似ているため、市民が見たときに読み取りが難しいと感じた。	全ての記載をご指摘のような形式に合わせることができれば、体系的にご覧いただく際に分かりやすいと考えているが、説明文中に例示することなどにより、施策の柱の方向性と施策とその方向性の記載が混同しているケースもみられる。 総合計画はあくまで大枠であり、事業レベルでは、別途実施計画にまとめられており、個別具体的な事業の精査等を毎年度実施しているところ。具体的な取組が記載されている「施策とその方向性」についても、総合計画に掲載されていることからあくまで大枠であり、より詳細な取組については、実施計画にてフォローしていく。
4 A 委員	全体		SDGsのマークの記載があるが、この説明はどこかにされているのか。	「島田市におけるSDGs」については、計画書案の50ページに掲載されているが、各マークの意味については説明がない状態。今後、56、57ページに判例を掲載予定。
5 A 委員	全体		全体指標（島田市のことが好きな市民の割合）及びその他の目指そう値について、第2次総合計画から変更はないのか。	全体指標については変更はないが、個々の目指そう値は今回見直したものもある。
6 A 委員	全体		今後、毎年フォローアップする中で目標達成できなかった項目については、その翌年に予算をつけ、取組の推進を図ることも考えられるのか。	予算に反映させることができれば理想と考えている。
7 D 委員	全体		第2次総合計画後期基本計画の52ページには、がんばるポイントの記載があるが、今回は前期基本計画であるので、記載を落としているとの理解でよいか。	前期、後期という理由で掲載するか否かを判断するものではない。以前策定していた総合戦略を第2次総合計画後期基本計画策定時に一体化させ、「がんばるポイント」と名称を変え溶け込ませたものである。 従来の総合戦略と連続性を持つ「地方創生2.0」が令和7年6月に閣議決定されたことを受け、現時点では、第3次総合計画前期基本計画への反映を行っていない。

グループワーク 意見記録用紙

グループ②

	委員名	施策の柱 の番号	施策の柱	意見（背景や理由も含めて）	回答
1	E 委員	6-2	未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）	46番について、事業継続という文言で事業承継を包含していることだが、次世代の経営者の育成に相当の時間を要することなどを考慮すると、「事業承継を含む事業継続」という表現でよいのではないか。	ご意見として頂戴する。
2	F 委員	6-4	地域の特色を活かし、付加価値の高い農林業を進める（農業・林業）	44番の農林業の「稼ぐ」という箇所について、林業の付加価値を向上させることで担い手が増え、稼げる農林業になるという流れの理解でよい。現在の設定指標では、「担い手の増加→稼げる農林業」ではなく、「農地集積面積や森林整備面積の増加→稼げる農林業」となっているように見えるため、まずは担い手が増えることに重きを置くべきではないか。	ご意見として頂戴する。現状、林家数が減少している中で、どちらに重きを置くべきかという点の判断は難しいため、担当部署にも意見を頂く。
3	G 委員	6-1	地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）	50番の【修正後】の文章について、シェアオフィス等の「支援」という文言よりも、県外から移転してもらうケースが想定されるため「誘致」と記載する方が適当ではないか。	「誘致」とした場合、6-2のとおり分野が変わってくることが考えられる。修正後の文言は補助金の要項から引用しているものである。

グループワーク 意見記録用紙

グループ③

	委員名	施策の柱 の番号	施策の柱	意見（背景や理由も含めて）	回答
1	H委員	7-1	便利で魅力あるまちをつくる (都市計画)	<p>前回の審議会での意見は、KADODE OOIGAWAを利用した人をどのように市内の他の観光地へ向かわせるかという趣旨で申し上げた。地域交流のハブとなっていることなどは理解しているが、KADODEを利用した後にすぐに高速道路で帰る人もいるのではないか。</p> <p>また、「観光交流や地域交流のハブ＝結び目」となることを目指した成果をどのように測るのか。</p> <p>※前回の審議会での意見 KADODE OOIGAWAの地域だけ稼ぐことができても、市民に活性化の恩恵があるかは不明瞭。企業等の誘致による収益増は見込むことができるが、観光客が来る場所は限定的であり、「稼ぐ拠点」として市内全体にその効果が波及するような役割を担うことはできているのかわからない。</p>	現状、KADODE OOIGAWAの来館者数の把握は可能であるが、その後、どのように市内を移動しているのか把握することは難しい。実態把握の必要性は認識しているが、ご意見として頂戴する。
2	H委員	8-1	脱炭素社会の実現に挑戦する (脱炭素社会・循環型社会)	市内全体における温室効果ガス排出量を指標に設定しているが、どの程度の規模で削減していくのかわかりにくさがある。例えば、「市民の活動で●t-CO2削減することができる」というように、具体的にわかりやすい数値を設定すべきではないか。	市域全体の排出量を記載しており、個別の細かいことが記載されているわけではない。詳細は環境報告書にて毎年度公表しているとおり。環境分野のみの資料を挿入することが難しい。環境報告書に記載と書けるとよいが検討させていただく。
3	H委員		全体	2050年未来の姿の絵はこのまま掲載するのか。前回作成から4年が経過したところだが、コロナなど様々な環境の変化があった中で2050年の姿を変更する必要はないのか。	掲載する予定。デザインについては今後検討を行う。
4	I委員		全体	カタカナの専門用語が見られるが、注釈などの解説を入れるのか。	<p>現時点で記入していない箇所があるが、どの文言に注釈を入れるのか、どのような内容にするのかを検討中である。わかりづらい部分を解消できるようにしたい。</p> <p>また、できれば次回の審議会で注釈を記入したものをご覧いただけるよう準備を進めていきたいと考えている。</p>
5	J委員	7-1	便利で魅力あるまちをつくる (都市計画)	静岡県が推進している空港ティーガーデンシティ構想に沿うような記載になっているのか。空港周辺の土地整備などの必要があると思うが、直近の5年で特ににか進んだ印象がないため、記載がなくてもよいかと考える。	空港周辺地域の活性化に資するものであると認識しているため、引き続き県に働きかけたい。